

令和8年度第3回秋田市上下水道事業経営審議会会議内容

開催日時	令和8年7月2日(木) 9:30～11:00		
開催場所	秋田市上下水道局川尻庁舎4階大会議室		
出席委員数	13人	欠席委員数	2人
傍聴者数	0人	報道機関	7社
議事			
答申書(案)の確認			
委員意見等			
・独立採算制の趣旨は分かるが、事業廃止等で削減した財源を水道料金に充てるような仕組みが作れないか。答申書においては、行政からの支援が必要だという強い表現をできないか。 →答申書(案)を修正する。 ・「明確に説明されたい」と言う文言を「理解を深める」といった表現に変えてはどうか。 →答申書(案)を修正する。 ・一般会計から水道事業会計への繰入を前提に考えるのではなく、福祉等の面で配慮を要する世帯に対して直接支援してはどうか。答申書は「実施策を要望する」「激変緩和措置を必ず取り入れる」などの文言にすることで、表現を強められないか。 →答申書(案)を修正する。 ・一般会計からの繰入は、恒久的ではなく時限的な制度であるべきだと思う。 【答申書(案)の修正(主なもの)】 4 附帯意見 (1) 市民への経済的支援 ・・・検討されたい。 → ・・・<u>要望する</u>。 (3) 将来への展望 ・・・圧縮し、その結果として・・・ → ・・・<u>圧縮した結果、・・・</u> ・・・その内容と影響について・・・ → ・・・<u>その影響と解消の必要性について・・・</u> ・・・明確に説明されたい。 → ・・・<u>明確に説明し理解が深まるよう努められたい</u>。 (新) <u>今後、人口が減少する中で上下水道事業の運営に当たっては、時限的であっても、一般会計からの繰入などによる行政支援について、国や市への働きかけを要望する。</u> ・文言を「要望する」に修正した場合、審議会から管理者に対して要望する形になるが、予算化は国や市長部局が行うのではないか。 →答申書(案)を再度修正する。 【答申書(案)の再修正】 4 附帯意見 (1) 市民への経済的支援 ・・・要望する。 → ・・・<u>働きかけを要望する</u>。			
◎会長から出席委員に対し、答申書(案)の賛否を挙手で諮り、13名全員の挙手で答申書(案)を決定し、管理者が答申書を受領した。			